

# 「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」の取組事例

## 放課後子ども教室の成果と課題(岩手県宮古市)

### 取組事業

放課後子ども教室

### 活動実施 場所

川井小学校 門馬小学校

### 取組概要

#### 【放課後子ども教室】

平成28年度現在2小学校で事業を実施している。川井小学校、門馬小学校のいずれも平成19年度に事業を開始しており、今年度で10年目を迎えた。

#### ○主な活動

- ・川井小学校:宿題の補助、読み聞かせ、自由遊びの見守り、クリスマス会や装飾づくりなど季節のイベント
- ・門馬小学校:伝統芸能の練習、野外観察、スキー練習



児童は、教室に来るとまず宿題に取りかかる。(川井小学校)

### 事業成果

#### 【放課後子ども教室】

○ほとんどすべての児童がスクールバス通学のため、自宅に帰ると子ども同士で遊んだり、一緒に勉強等を行う時間も場所もない。そのため、放課後子ども教室が唯一交流等の拠点となっており、児童・保護者の100%が教室の開催に満足している。

○地域の方が安全管理員として見守り等を行っている。85%の児童が自分が住む地域が好きと、また保護者の80%が自分の子どもが地域に好感を持っていると感じていることから、本事業により学校と地域とが日常的に繋がっていることが要因の一つであると考えられる。

### 課題や今後の取組

#### (課題)

○アンケートによると、川井小学校の児童、保護者、教員のいずれも教室の設置には満足しているものの、開催日数の増や、例えば「外で行う体を使った遊びを充実させてほしい」等、希望もいくつか挙がっていることから、内容を充実し希望に応じた内容の充実を図る必要がある。

○門馬小学校は極小規模校であり、授業が終われば原則として全員がすぐ帰宅する。そのため、放課後子ども教室は、地域の方を講師とした体験の場として年に数回のみ実施している。今後も、学校と密に連携し、現在の形で必要な時期に必要な内容で実施していく必要がある。